

# 第 1 災害の実態

## 1 火災概況

平成 24 年中の火災は、総出火件数 845 件、損害額 1,351,089 千円、死者 48 人、負傷者 136 人、焼損棟数 732 棟、り災世帯数 441 世帯、建物焼損床面積 24,566 平方メートル、建物焼損表面積 1,861 平方メートル、林野焼損面積 206a となっている。

### (1) 出火件数

総出火件数は 845 件で前年に比べ 355 件（30%）減少している。これは 1 日に約 2.32 件の割合で火災が発生していることになる。

#### ア 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 501 件で全体の 59.3% と最も多く、次に、車両火災（80 件）、林野火災（18 件）と続いている。

建物火災を種別ごとにみると、一般住宅火災が 191 件（38.1%）と最も多く、次いで共同住宅火災となっており、住宅からの出火が半数以上を占める。（表 1、図 1、図 2）

表 1 火災種別出火件数

分 種別	区	平成 24 年		平成 23 年		増 減 (A - B)
		件数(A)	全体比(%)	件数(B)	全体比(%)	
建 物		501	59.3	635	52.9	134
林 野		18	2.1	49	4.1	31
車 両		80	9.5	129	10.8	49
船 舶		3	0.4	0	0.0	3
航 空 機		0	0.0	0	0.0	0
そ の 他		243	28.8	387	32.3	144
合 計		845	100.0	1,200	100.0	355

図 1 全火災種別内訳

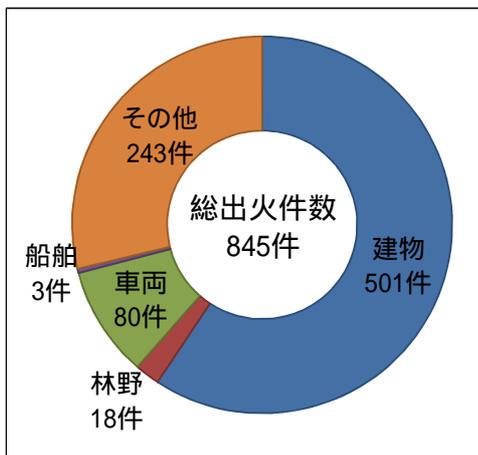
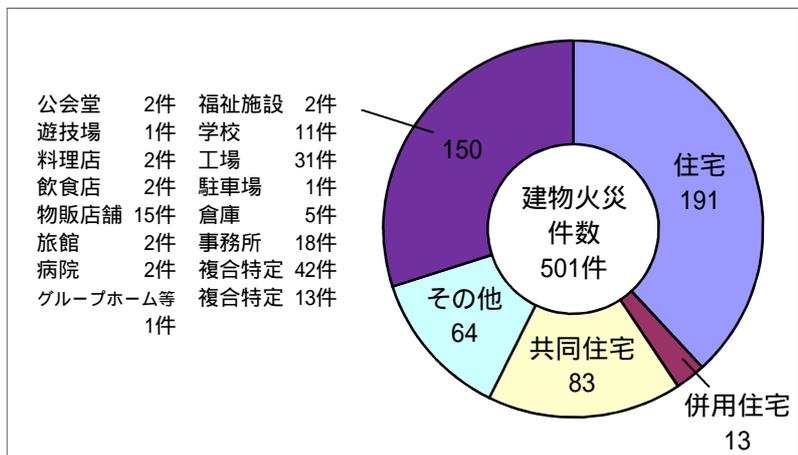


図 2 建物火災用途別内訳



## イ 月・四季別出火件数

月別に見ると4月の出火件数が96件（全体比11.4%）で最も多い。（図3）

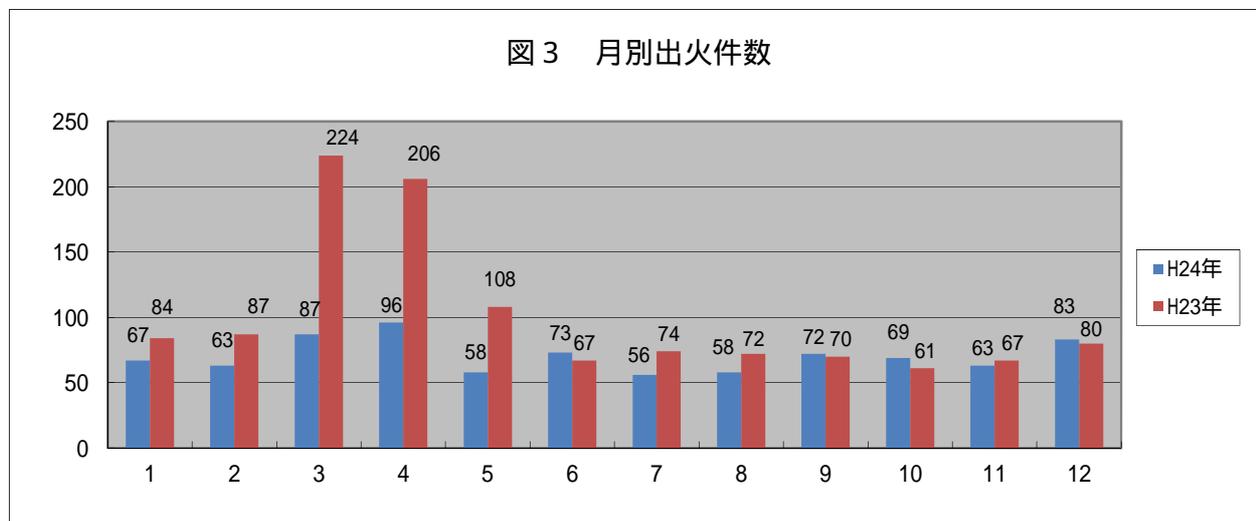


表2 四季別出火件数

	平成24年		平成23年	
	件数	全体比	件数	全体比
春季（3～5月）	241	28.5	538	44.8
夏季（6～8月）	187	22.1	213	17.8
秋季（9～11月）	204	24.1	198	16.5
冬季（1～2月及び12月）	213	25.2	251	20.9
合計	845	100.0	1,200	100.0

## （2）消防機関の火災覚知方法

消防機関の火災覚知方法は、携帯電話からが282件（33.4%）で最も多い。（表3）

表3 火災の覚知方法

（平成24年1月1日から12月31日まで）

	専用電話	加入電話	携帯電話	警察電話	駆付け通報	事後聞知	その他	合計
件数	271	64	282	27	5	180	16	845
全体比	32.1%	7.6%	33.4%	3.2%	0.6%	21.3%	1.9%	100.0%